

戸籍の窓

4月1日～5月末届出分
(太文字は地区在住)

●すこやかに

中山 結人(ゆいと)くん(御波・純平さん)
 橋本 すずちゃん(中里・友和さん)
 月坂 心春(こはる)ちゃん(西・淳一さん)
 竹谷 優月(ゆつき)くん(豊田・友さん)

●えんむすび

永井 一登さん(東)
 由利 恵さん

●やすらかに

佐渡 久代さん
 (菱浦・82)

澤 海人さん(東)
 笠原 麻衣さん

中川 藤江さん
 (知々井・93)

渡辺 拓磨さん(東)
 的地 絢香さん(東)

矢澤 良子さん
 (知々井・89)

日下部 達哉さん
 柏原 幸恵さん(宇受賀)

山崎 モリ子さん
 (崎・95)

濱見 敏明さん
 (中里・59)

三浦 奈津子さん
 (東・94)

濱中 和恵さん
 (菱浦・86)
 吉田 茂子さん
 (崎・77)

御礼申し上げます

〔海士町社会福祉協議会〕

◆香典返し

村上 藤枝様(西)
 岡本 茂樹様(東)
 佐渡 遼様(菱浦)
 河原 登様(崎)
 山崎 明様(崎)
 永井 勝久様(神戸市)
 矢澤 憲一様(知々井)

〔特別養護老人ホーム 諏訪苑〕

◆香典返し

河原 登様(崎)

◆広報郵送料

(6月24日)

前田 基明様(高槻市)
 木谷 静代様(東大阪市)
 尾崎 壽子様(大東市)
 中本 繁範様(松江市)
 杵築 正幸様(枚方市)
 本田 薫様(練馬区)
 野澤 利秀様(境港市)
 野津 冴子様(松江市)
 坂根 由美子様(大田市)
 山内 政義様(西ノ島町)
 山内 健様(松江市)

キラリ★海士人

“出る杭”上等！ 自分のスタイルで



ひなた
前田 陽汰さん
 (17歳、東京都杉並区出身)

高校生が企画した「とちばけマルシェ」(p11)で陣頭指揮をとった前田さん。今年の6月まで約1年間、島前高校の研修交流センター「三燈」の4代目寮長を務めていました。

釣りが好きで島留学を決めました。いざ移住してみると興味は一変。「釣りよりも面白いものを見つけました。それは、地域の人の交流です」

散歩やヒッチハイクで地元住民とすぐに仲良くなり、畑仕事や障子の張り替えを手伝ったりしているうちに、高校の外にも知り合いの輪が広がっていきました。三燈と地域を繋ごうと、自分が寮長になってからは「蚤の市」というフリーマーケットを利用した交流企画も始めました。

学びの関心の幅は広く、全国から選りすぐりの学生が集まる起業家育成プログラムに参加するなど、徹底してイノベーター(革新者)志向。寮長をするにあたっては、U理論(※)を本で独学し、実践の中でさまざまなことを身につけました。

「三燈はお金の関係ではないから、共感を生んで行動に繋げていくしかない。マネジメントは会社よりも難しいと思いますね」。島留学して学んだ最大のことは、信頼ベースの“絆”づくりの大切さかもしれません。

「東京に進学予定ですが、40歳をメドに海士に帰ってきます。僕はもうただのお客さんじゃない。この島にはいっぱい家族がいる感じですね」

次の寮長へは、「常に枠にとらわれず、新しい色の三燈にしていってほしい」との想いを託しています。

そして自分自身は、「横断的に学びたいので、慶応大学総合政策学部のAO入試に挑みます。知識を詰め込む学力ではなくて、三燈や地域での活動の中から学び取ったことで勝負して、合格したい」

柔らかな物腰で一見ひかえめながら、内には強い意志と、自分流へのこだわりを秘めた逸材。“出る杭”が起こすイノベーションが、海士町を、日本を、変える日がくる…かも！

(取材・文 総務課 小坂)

(※) 個人や組織に変容と創造のプロセスを生み出し、革新していくための理論